

水産試験場が実施しているニシン漁獲物調査において得られた情報について、随時お知らせしています。

3月23～24日に、石狩湾漁協厚田地区と石狩地区の青年部が実施しました「ニシン漁期終了後試験調査」の結果をとりまとめました。前浜において5種の目合（1.6寸，1.8寸，2.0寸，2.1寸，2.2寸）を用いてニシンを採集しました。

表 採集物の内訳

	1.6寸	1.8寸	2.0寸	2.1寸	2.2寸
石狩 (3月23日)	漁獲重量kg 60	0.2	30	0.3	90
	漁獲尾数 493	1	129	1	356
	平均尾叉長mm 222.5	232.0	268.2	286.0	275.8
	平均体重g 121.5	157.0	232.1	289.0	253.0
厚田 (3月24日)	漁獲重量kg 132	59	27	-	-
	漁獲尾数 971	379	124	-	-
	平均尾叉長mm 228.8	236.5	263.0	-	-
	平均体重g 135.6	154.9	217.2	-	-

【結果】

採集状況(右表)

前年度調査に続き、今回も両地区で大漁となり、分析に十分なデータを得ることができました。石狩、厚田とも1.6寸目による漁獲尾数が最も多くなりました。石狩では2.2寸目でも多くの漁獲がありました。

魚体と年齢(下図)

両地区の1.6寸目による漁獲物の大半は尾叉長20～24cmの2年魚（2014年級）で占められています。1.8～2.0寸目では24～26cmサイズを主体とする3年魚（2013年級）が漁獲されましたが、2.0寸目以上では今期後半の主役となった4年魚（2012年級）が大半を占めました。

成熟状況

漁獲物のほとんどは雌雄とも完熟状態であり、産卵後のニシンが数尾みられました。前年度調査（平成27年4月10日実施）で採集された2年魚は大半が未熟の索餌群であったのに対し、今回は調査時期を早めたこともあり、産卵来遊した若齢群の状態を把握することができました。

今回の調査結果から、現在の網目規制（2.0寸以上）によって2年魚の大半と3年魚の一部が次年度以降の漁獲対象として残り残されたうえに、産卵して子孫を残している状況が明瞭にわかります。また、3月末においても4年魚が少なからず産卵を行っていることが示唆されました。網目規制と漁期の早期切り上げが、現在の石狩湾系ニシンの資源維持にとって極めて重要な資源管理の取り組みとなっていることが改めて示されました。

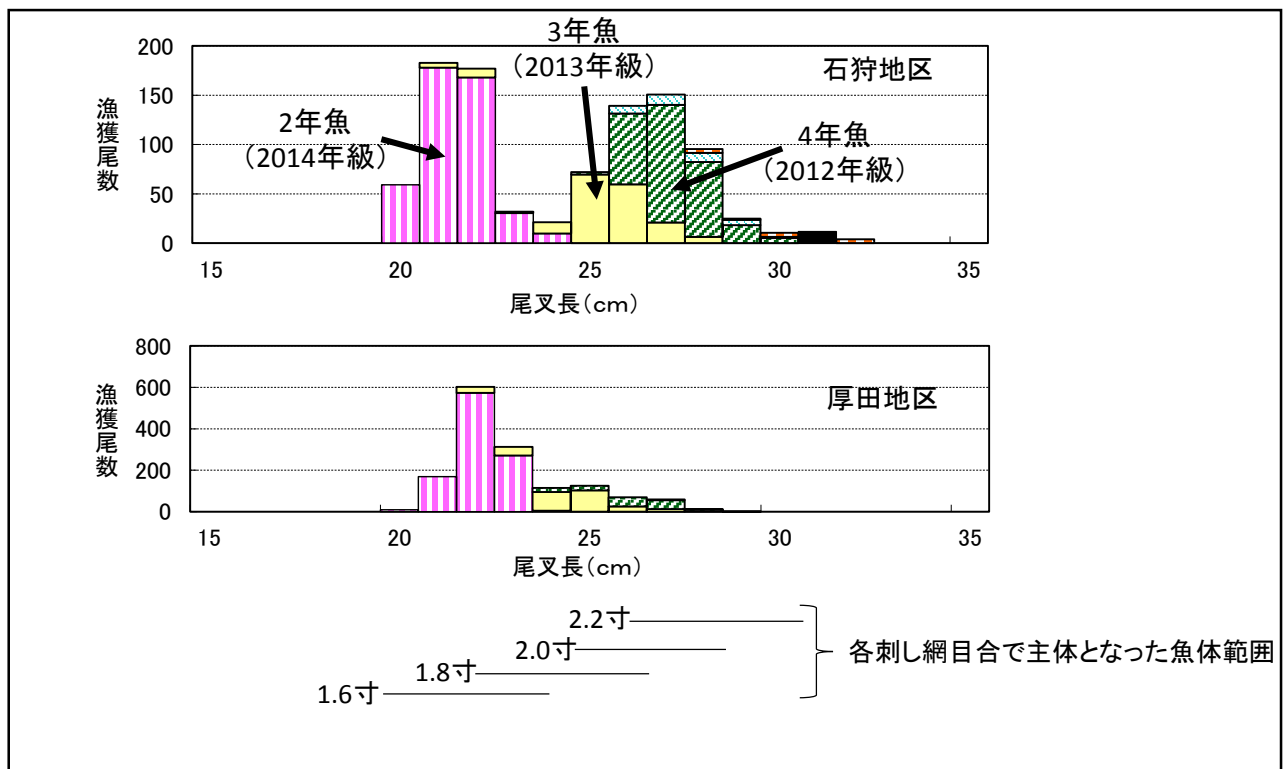


図 平成28年3月23-24日 石狩・厚田地区 年齢別尾叉長組成